

2020年3月19日

各位

株式会社 みちのく銀行

「活気ある職場づくり」に向けた新施策導入のお知らせ

みちのく銀行（頭取 藤澤 貴之）は、「活気ある職場づくり」を主要テーマとした4つの新施策を導入することになりましたので、下記の通りお知らせいたします。

昨今の金融サービスが多様化している時代に対応していくためには柔軟な発想が必要となります。しかし、長い間続いている労働慣行の中では、そのような発想が生まれにくい面があることから、日々の仕事の仕方・スタイルを大胆に見直すことも必要であり、こうした取り組みが「活気ある職場」にもつながっていくものと考えております。

当行では、今後もより一層地域のお客さまへ最良のサービスを提供していけるよう、全役職員がよりフラットで活発にコミュニケーションを取り合えるような関係性を構築し、職員一人ひとりの個性・強み・創造力を存分に発揮できる組織風土の醸成を図ってまいります。

記

1. 具体的な取り組み内容

(1) ドレスコードの見直し（服装の一部自由化） ～2020年4月開始～

既存のドレスコードを大幅に見直し服装の一部自由化を実施します。

【主な見直し内容】

- ①個人営業課・法人営業課の女性職員における制服着用の任意選択化
- ②私服着用における4つのガイドライン新設
 - ・ビジネススタイル、スマートカジュアルスタイル、ビジネスカジュアルスタイル、カジュアルスタイル。
- ③襟章・名札（ネームプレート）の廃止
- ④通勤時のスニーカー着用許可

【目的・効果】

- ①ダイバーシティ推進
 - 職員一人ひとりの個性・自主性・自律性を尊重したい。
- ②コミュニケーション向上
 - 服装を多様化することにより、職員同士のコミュニケーションがより活性化し、柔軟な発想が生まれやすい職場環境になることが期待できる。

③ワーク・ライフ・バランスの充実

スーツ以外のカジュアルな服装も可能となることで、業後のプライベートな時間の充実(一旦帰宅して着替える必要がないためそのまま週末の旅行や家族との買い物・食事に行ける等)につながる。

(2) さん付け呼称運動の展開 ～2020年4月開始～

職員一人ひとりの個性・強み・創造力を存分に発揮できる組織風土の醸成を意図し、役職員同士の関係性をよりフラットにするべく、行内の役職員間において、役職の有無や年齢の上下に関わらず「〇〇さん(名字・姓)」と呼び合う「さん付け呼称運動」を展開いたします。

【「さん付け呼称運動」の概要・基本ルール】

行内の役職員間において、役職の有無や年齢の上下に関わらず「〇〇さん(名字・姓)」と呼び合う。

(例:「藤澤頭取⇒藤澤さん」「〇〇部長⇒〇〇さん」「〇〇支店長⇒〇〇さん」)

【目的・効果】

①役職に関わらず自由に意見交換できる組織風土の醸成

役職は「上下関係」ではなく、「役割分担」を示すものであるという考え方を再認識し、それぞれ自分に与えられた役割に応じて、自由に意見交換できる組織風土を醸成していきます。

②相互に尊重し合う職場環境の構築

役職員同士がお互いに相手の立場・思いを尊重しながら、きちんと自己主張・コミュニケーションができる風通しの良い職場環境を構築していきます。

(3) テレワーク制度 ～2020年4月試行開始～

職場など一定の場所に縛られずにどこでも仕事ができる環境を構築し、多様な働き方を推進していきます。

【目的・効果】

①労働生産性の向上

各種資料作成などを自宅等にて作業することで、移動時間等が省力化でき労働生産性の向上が図られる。

②多様な働き方の実現

育児や介護、怪我などで一時的に出勤できない職員の働き方の選択肢が広がることにより、仕事と家庭の両立やゆとりある健康的な生活をサポートできる。

(4) フレックスタイム勤務制度 ～2020年6月導入予定～

効率的な時間配分が可能となり、労働生産性の向上や自己啓発にかかる時間の確保、育児や介護と業務の両立などワーク・ライフ・バランスの促進を図ります。

【制度概要】

①対象者

行員・嘱託（特殊勤務従事者、パートタイム勤務者は除く）

②勤務時間

	フレックスA	フレックスB
対象者	営業店窓口業務従事者	左記以外
コアタイム（※1）	9：00～15：00	11：00～15：00
フレキシブルタイム（※2）	始業 6：30～ 9：00 終業 15：00～21：00	始業 6：30～11：00 終業 15：00～21：00

※1：必ず勤務しなければならない時間帯

※2：対象者の選択により勤務することができる時間帯

【目的・効果】

①個々人のライフスタイルに合わせた柔軟な働き方の実現

職員一人ひとりの意思や能力、個々の事情に応じて、多様で柔軟な働き方を選択可能な職場環境を実現させる。

②業務効率（生産性）の向上

一律の就業時間ではなく、その日の予定やアポイントメントに応じて自らの勤務時間をフレキシブルに選択できることで、一人ひとりがより効率的な時間の使い方を自らの意思で決定でき業務効率化・生産性向上に繋がっていくことが期待できる。

《イメージ図》

